万物資生堂と中村裕太は、を調合する

資生堂の沿革

展覧会とあわせて、資生堂の 150 年の歩みもご参照ください。

1868（明治 1）年　明治改元

1872（明治 5）年　新橋～横浜間鉄道開通
福原有信が洋風民間調剤薬局「資生堂」を東京・銀座（出雲町）に創業

1874（明治 7 ）年　銀座のガス灯落成・点火

1883（明治 16）年　鹿鳴館開館

1888（明治 21）年　電話開通（東京～横浜間）、幻燈流行
日本初の練り歯磨「福原衛生歯磨石鹸」発売

1897（明治 30）年
化粧品業界へ進出。「オイデルミン」発売

1898（明治 31）年
「香油 花かつら」（オイトリキシン）発売

1900（明治 33）年　第 11 回パリ万国博覧会

1902（明治 35）年
店舗内にソーダファウンテン設置。ソーダ水、アイスクリームの製造販売開始

1910（明治 43）年　ロンドンで日英博覧会、 大正デモクラシー（1910 年代～ 1920 年代）
色付き固練白粉「かへで白粉」・「はな白粉」発売

1912（大正 1）年　大正改元

1915（大正 4）年　銀ブラ流行
「フローリン」発売
福原信三が「花椿マーク」の原型考案（1919 年商標登録）

1916（大正 5）年
資生堂化粧品部開店（竹川町）。意匠部、試験室開設

1917（大正 6）年
「香水 花椿」、「七色粉白粉」発売

1918（大正 7）年
「資生堂コールドクリーム」発売

1919（大正 8）年
陳列場開設（現・資生堂ギャラリー。現存する日本で最古の画廊）

1920（大正 9）年
唐草文様のデザイン導入始まる
「香水 菊」（1920 年頃）発売

1921（大正 10）年
社業の基本理念「五大主義」制定
陳列場で「子供服と鏡台陳列」開催（パリから子供服を取寄せ、展示即売）
書籍『銀座』、小冊子『化粧』刊行

1922（大正 11）年　職業服登場・子供服普及
化粧品部 2 階に「美容科」、「美髪科」、「子供服科」を開設
『オヒサマ』（子と母の雑誌）創刊（5 月号）

1923（大正 12）年　関東大震災、髪型〈耳かくし〉全国的に流行
店舗、工場消失。卸部焼け跡にバラック 2 階建の「資生堂出雲町店」を再建
資生堂化粧品連鎖店（ヴォランタリーチェインストア）制度発表

1924（大正 13）年
化粧品製造工場開設（東京・木挽町）
『資生堂月報』（消費者向け機関誌）創刊

1925（大正 14）年　ラジオ放送開始、モガ・モボの出現

1926（昭和 1）年　昭和改元

1927（昭和 2）年
取締役社長に福原信三就任。株式会社資生堂発足
和文ロゴタイプ確立

1928（昭和 3）年
資生堂化粧品部、資生堂アイスクリームパーラー開店
欧文ロゴタイプ確立

1929（昭和 4）年　世界恐慌始まる

1931（昭和 6）年
東南アジア向けに「ローズ化粧品」輸出

1932（昭和 7）年　東京市成立（人口 497 万人世界第 2 位）

1933（昭和 8）年
『資生堂グラフ』創刊（～ 1937 年）

1934（昭和 9）年
ミス・シセイドウ宣伝活動開始

1936（昭和 11）年　ベルリン・オリンピック（前畑秀子優勝）
「ビューティーチャート (麗人の栞)」制作

1937（昭和 12）年
美容法「資生堂式美顔術」完成、専用化粧品発売
愛用者組織「花椿会」発足、花椿会記念品制作
『花椿』創刊

1939（昭和 14）年　第二次世界大戦（～ 1945 年）
資生堂化学研究所（のちに資生堂研究所）完成

1940（昭和 15）年　化粧品が公定価格となる

1944（昭和 19）年
資生堂画廊（現・資生堂ギャラリー）休廊

1946（昭和 21）年
社歌制定
戦後初の多色刷りポスターを制作

1947（昭和 22）年　化粧品の公定価格制度廃止
資生堂画廊再開。「椿會第一回展覧會」を開催

1948（昭和 23）年
ミス・シセイドウ復活（戦後 1 期生 6 名）

1949（昭和 24）年　1 ドル＝360 円の単一為替レートに
東京証券取引所に株式を上場

1953（昭和 28）年　テレビ放送開始
資生堂美容研究所 (のちのビューティークリエーションセンター) 開設

1956（昭和 31）年
資生堂美容室開店（東京・渋谷）

1957（昭和 32）年　ソ連人工衛星打上げ成功
台湾で販売開始
「資生堂スポッツカバー」発売

1958（昭和 33）年　一万円札発行、東京タワー完成
テレビ界初のミュージカル番組 (30 分) を NTV より放送

1959（昭和 34）年　皇太子・明仁親王（当時）と美智子妃ご成婚、外資系化
粧品キャンペーン始まる
資生堂美容学校開校
大船工場完成（のちに鎌倉工場に改称）

1960（昭和 35）年　カラーテレビ本放送開始
「ビューティケイク」発売

1961（昭和 36）年　レジャーブームはじまる
初のメーキャップキャンペーン「キャンディトーン」実施

1962（昭和 37）年
資生堂オブ・ハワイ設立

1963（昭和 38）年
本格的男性化粧品ブランド「MG5」発売

1964（昭和 39）年　東京オリンピック
「香水 禅」発売（輸出向け商品）

1966（昭和 41）年
サマーキャンペーン「太陽に愛されよう」（ビューティケイク）を展開

1967（昭和 42）年　EC 成立、ASEAN 結成
男性用化粧品新ブランド「MG5」発売

1968（昭和 43）年
資生堂研究所（2019 年にグローバルイノベーションセンターに改称）完成（横浜）

1969（昭和 44）年　アポロ 11 号月面着陸

1970（昭和 45）年　日本万国博覧会、大阪で開催
資生堂シンガポール設立

1971（昭和 46）年
資生堂ニュージーランド設立
敏感肌用化粧品「イブニーズ」発売

1972（昭和 47）年
創業 100 年
資生堂タイランド設立
資生堂社会福祉事業団設立
第 1 回国際会議「光と皮膚のセミナー」開催

1973（昭和 48）年
レストラン「ロオジエ」開店

1975（昭和 50）年
掛川工場完成
「資生堂ザ・ギンザ」開店

1977（昭和 52）年
ファッションショー「6 人のパリ」開催

1978（昭和 53）年
資生堂アートハウス（掛川）完成

1979（昭和 54）年
資生堂オーストラリア設立

1980（昭和 55）年　モスクワオリンピック
資生堂フランス、ドイチュラント設立
セルジュ・ルタンスをイメージクリエーターに起用

1981（昭和 56）年
北京で販売開始

1982（昭和 57）年
資生堂オーストラリア設立

1983（昭和 58）年
久喜工場完成
食品事業部発足

1984（昭和 59）年
バイオヒアルロン酸の量産化に成功

1985（昭和 60）年　男女雇用機会均等法制定、日本の人口 1 億 2105 万人に
ビューティーサイエンス研究所発足

1986（昭和 61）年
資生堂ユナイテッドキングダム設立
SABFA 開校

1987（昭和 62）年
資生堂薬品（株）設立

1988（昭和 63）年
「資生堂スーパーマイルド」発売

1989（平成 1）年　平成改元、消費税 3 %
新・企業理念を発表
コーポレートスローガン「ヒトを彩るサイエンス」発表
資生堂国際フォーラム「サクセスフルエイジング」開催（以降隔年に 2005 年まで）
ハーバード大学と共同で皮膚科学研究所開設（ボストン）

1990（平成 2）年　東西ドイツ統一
資生堂アメリカインコーポレーテッド設立

1991（平成 3）年
合弁会社「資生堂麗源化粧品有限公司」設立（北京）
フランス・ジアン工場竣工

1992（平成 4）年　バルセロナ五輪
資生堂企業資料館（掛川）開館
香水専門店「レ・サロン・パレロワイヤル・シセイドウ」開店（パリ）

1993（平成 5）年　欧州連合（EU）発足
資生堂カナダ設立

1995（平成 7）年　インターネット台頭
（株）資生堂インターナショナル設立
「資生堂サイバーアイランド」開設、インターネットで情報提供開始

1997（平成 9）年　消費税 5%
創業 125 年・化粧品事業 100 年
「資生堂オイデルミン（グローバル）」発売
資生堂企業行動宣言「THE SHISEIDO WAY」策定
資生堂企業倫理・行動基準「THE SHISEIDO CODE」制定

1998（平成 10）年　長野オリンピック
香港に「資生堂大昌行化粧品有限公司」設立
上海に「上海卓多姿中信化粧品有限公司」設立

2000（平成 12）年
国内外全工場で ISO 14001 認証取得
（株）エフティ資生堂設立
「NARS」ブランド買収

2001（平成 13）年　米同時多発テロ（9.11）
「資生堂ザ・スキンケア」フランスで最優秀化粧品賞受賞
「東京銀座資生堂ビル」オープン
資生堂（中国）研究開発有限公司、資生堂ブラジル設立

2002（平成 14）年
視覚障がい者向け総合美容情報ページ「リスナーズカフェ」開設

2003（平成 15）年
汐留オフィスに本社機能を移転
資生堂（中国）投資有限公司設立

2004（平成 16）年
国連グローバル・コンパクトに参加表明
「グローバルビューティーコンサルタントコンテスト」（以降 4 年に一度開催）

2005（平成 17）年
新コーポレートメッセージ「一瞬も 一生も 美しく」発表
トータルメイクアッププランド「マキアージュ」発売

2006（平成 18）年
セラピーメーキャップ施設「資生堂ライフクオリティビューティーセンター」開設
ヨーロッパリサーチセンター、花椿ファクトリー（株）設立
「TSUBAKI」発売

2007（平成 19）年
資生堂女性研究者サイエンスグラント開始

2008（平成 20）年　北京オリンピック
中国で植林活動開始

2009（平成 21）年
環境省から「エコ・ファースト企業」認定（化粧品業界初）
ベトナム工場完成

2010（平成 22）年
資生堂コスメティクス ベトナム設立
資生堂ヘラス（ギリシャ）設立

2011（平成 23）年　東日本大震災（3.11）
資生堂グループ企業理念「Our Mission, Values and Way」制定

2012（平成 24）年
Ｅコマース「ワタシプラス」開始

2013（平成 25）年　富士山世界遺産に登録、インバウンド需要が高まる
創業の地「銀座」に「価値創造拠点」となる本社新社屋「資生堂銀座ビル」オープン
初代「資生堂ビューティースペシャリスト」が活動開始

2014（平成 26）年　消費税 8%

2015（平成 27）年
資生堂ジャパン設立
資生堂アジアパシフィック設立（シンガポール）

2016（平成 28）年　新元素ニホニウム発見・命名
「センター・オブ・エクセレンス」（東京・NY・パリ）ネットワーク体制を完成

2017（平成 29）年
「福原衛生歯磨石鹸」、「オイデルミン」、「フローリン」が化学遺産として認定

2018（平成 30）年　日経平均株価 26 年振りに 2 万 2 千円超え
「SHISEIDO メイクアップ」大型リニューアル
総合美容施設「SHISEIDO THE STORE」オープン（東京・銀座）

2019（令和 1）年　新元号「令和」に改元（5 月）、消費税 10%
新・企業理念 THE SHISEIDO PHILOSOPHY 策定
資生堂グローバルイノベーションセンター本格稼働
国内外向けスキンケア生産拠点「那須工場」竣工

2020（令和 2）年　新型コロナウィルス感染症パンデミック
手指消毒液生産開始
大阪茨木工場竣工
「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー 2019 経済産業大臣賞」を受賞
女性が輝く先進企業表彰で内閣総理大臣表彰受賞
資生堂ギャラリーがメセナアワード特別賞「文化庁長官賞」受賞

2021（令和 3）年　東京オリンピック
「資生堂インタラクティブビューティー株式会社」設立
令和二年度「なでしこ銘柄」に選定

2022（令和 4）年
創業 150 周年
記念化粧品発売：オイル状美容液「万物資生 LIFE DEW」（1 /21）、資生堂オイデルミン 150 周年アニバーサリーエディション（4/1）